

# ベトナム人住民 地震に備え

## 入居増える豊田の団地

豊田市田中町の団地「ビレッジハウス田中」と隣接する「ビレッジハウス田中第二」で暮らすベトナム人を対象に災害への備えを促す催しが、団地の集会所などであった。団地では技能実習生などとして来日したベトナム人の入居が増えているが、防災情報や避難所の案内は十分でなく、管理運営会社が企画した。

ビレッジハウス田中と同 第二は以前、炭鉱の閉山に 前から各地で整備された公

(諏訪慧)



上 テーブルの下に潜ったり、後頭部に手を添えたりして体を守る訓練をするベトナム人入居者  
 豊田市田中町のビレッジハウス田中の集会所で  
 下 避難所の確認で美山小へ向かうベトナム人入居者ら＝豊田市田中町で

共の「雇用促進住宅」だった。各地の雇用促進住宅は国の進める合理化の一環で廃止され、米国の投資会社が購入。ビレッジハウス・マネジメント（東京）が管理運営を担い、「ビレッジハウス」のブランド名で、家賃の手ごろな賃貸マンションとして展開する。

ビレッジハウス田中と同 第二は計410戸あり、このうち100戸以上にベトナム人が入居。ベトナムか

## 防災士が初期対応説明／避難所を確認

ら技能実習生として多くの人が豊田市に来ているためとみられる。

催しは3日にあり、防災士の男性を講師に招き、大地震の初期対応を説明。ベトナムは日本に比べて地震の発生はかなり少ないこともあり、机やテーブルの下に潜って体を守り、ガスコンロなど火を使っている場合は揺れが落ち着いてから消すと説いた。

自宅が壊れた際に頼る避難所にはルールがある一方、水や食料といった生活物資が無料で提供されることも紹介。20人余りの参加者は避難所に指定されている美山小学校まで10分ほどかけて歩き、場所を確認した。

技能実習生として4年前に来日し、技能と日本語能力が認められた「特定技能」の在留資格で自動車関連企業で働くドー・ドゥック・ナムさん(25)は大きな地震に遭遇した経験はない。「テーブルなどの下に潜り、頭を守るといっのが勉強になった。水や食料を買いためて備えたい」と話した。